二〇一六年一月一九日（参加者一六名）

シスターのベールをとばす空つ風　せいじ
竹林の小径にここだ落椿　せいじ
国つ神祀る小社に冬日燦　せいじ
寒風に背中を向けて電車待つ　せいじ
天鵞絨のごとき苔の上落椿　せいじ
冬ざれの庭に真白きマリア像　せいじ
身に入むや震禍のままに立つ鳥居　うつぎ
春天へ双手を翳すイエス像　うつぎ
磴二百仰ぐ鳥居に冬日燦　うつぎ
寒禽や樹下に鎮もる力石　うつぎ
力石黙し寒禽しきりなる　うつぎ
寒風裡肩寄せあへる力石　うつぎ
木守柿風に吹かれて心細　よし子
凍雲を貫かんとす摩天楼　よし子
炎あげ高舞ふ子らの吉書揚　よし子
竹爆ぜていよいよ高し吉書揚　よし子
うち仰ぐ磴は胸突き寒の宮　菜々
寒風裡眉根きりりと矢大臣　菜々
蝋梅が咲きましたよと修道女　菜々
踏切の真中で交はす御慶かな　こすもす
天蓋の木々焦がさんととんど燃ゆ　こすもす
黒焦げの榾木よこたふどんど跡　こすもす
連山をあまねく照らす春日かな　ひかり
初句会寿ぐごとく青空に　ひかり
修道女案内上手笑み温し　ひかり
どんど屑上昇気流に乗りにけり　ぽんこ
大松笠拾ふ社の落葉道　ぽんこ
寒晴や修道院の門広し　よう子
寒風に悲鳴をあげし雨戸かな　よう子
鏡餅みごとに開く白寿翁　かかし
風花の横走りせる車窓かな　有香
磴百段上りきつたる息白し　宏虎
寒日和池辺りに立つマリア像　満天
クレーン車中洲に躍如川普請　明日香
マリア像祈る背中に冬日さす　わかば

定例句会みのる選

二〇一六年一月一九日（参加者一六名）